令和７年度　授業計画

ビジネス科　３年Ｃ組

教　　科	商　業	科目(単位)	原価計算（３単位）	選択相手科目	ソフトウェア活用
使用教科書	原価計算（ＴＡＣ出版）				
授 業 形 態	通常授業・　分割授業　・　Ｔ　Ｔ				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
※ＴＴ（チームティーティング）とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

１　科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成する。

２　科目の内容と授業の進め方

・製品の製造にかかった費用である原価の基礎的な考え方や原価の計算方法、および工業簿記の仕組みや記帳法について、一連の記帳例題を通して理解を深めることが大切です。学習項目または単元ごとに練習問題に取り組み、理解度のチェックを行います。充分な理解を得られないときは、補充プリントを配付し課題とします。
・企業における原価計算の役割や原価情報の有効な活用の仕方について理解できるように指導します。

３　学習の方法

・学ぶことは真似ることでもあります。授業の板書をノートに写し、記帳方法の細部にまで気を配ることが大切です。
・問題の意図を正確に把握し、なすべき作業を組み立てることが求められます。板書を写したノートに、自分なりの工夫点を書き加える必要もあります。
・演習を行うときは、基礎確認を行い、自分のレベルに合った問題を正確に解けるようにしていく必要があります。
・電卓の使用方法をマスターしておくことは言うまでもありませんが、計算力を要求される演習が数多くあります。電卓練習もしておきましょう。
・６月受験で合格した場合も学び直しをしてもらいます。

４　課題・補習について

・問題集の点検を行います。
・補充プリントを課題として点検します。
・補習は必要に応じて実施します。

５　この授業で取得可能な資格（検定試験）

・全商簿記実務検定試験　１級　原価計算

６　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
原価計算に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術を身に付けている。	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	原価計算について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。

ビジネス科　３年Ｃ組

教　　科	商　業	科目(単位)	原価計算（３単位）	選択相手科目	ソフトウェア活用

７　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法（課題等）
4	第１章 原価と原価計算	・原価要素の分類を学習し、原価計算の目的、手続き、期間、種類について基礎的な知識を身に付ける。	行動観察 課題提出 小テスト
	第２章 原価計算のあらまし	・製造業における経営活動と原価計算との関係及び簿記の特色について理解する。	
	第３章 工業簿記の勘定連絡	・材料費、労務費、経費の計算から製品の完成、販売までの工業簿記の基本的な仕組みと記帳法を理解する。	
5	第４章 材料費	・材料費の分類及び材料の仕入、保管、払出、消費における計算と記帳法、予定価格を用いた材料消費高の計算法と記帳法を理解する。	
	第５章 労務費	・労務費の分類及び賃金の支払、消費、予定賃率を用いた賃金消費高、賃金以外の労務費の消費高の計算方法と記帳法を理解する。	
6	第６章 経費	・経費の分類及び消費高の計算法と記帳法を理解する。	
7	第７章 個別原価計算	・個別原価計算について、基礎的な知識を身に付ける。 ・原価計算表の作成、製造勘定との関係、製造間接費の実際配賦と予定配賦の記帳法を理解する。 ・仕損品、作業くずの処理法を理解する。	**前期中間考査**
8	第８章 部門別個別原価計算	・部門別個別原価計算の手続きを理解し、部門費配分表と部門費振替表の作成法を理解する。	行動観察 課題提出 小テスト
9	第９章 総合原価計算	・総合原価計算について基礎的な知識を身に付け、個別原価計算との違いを理解する。 ・単純総合原価計算の計算法及び作成法を理解する。 ・月末仕掛品原価の計算法を理解する。 ・等級別総合原価計算の計算法及び作成法を理解する。 ・組別総合原価計算の計算法及び作成法を理解する。	
	第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算と減損・仕損じの発生など	・工程別総合原価計算の計算法及び作成法を理解する。 ・副産物・作業くず・仕損品の処理法を理解する。	
10	第12章 製品の完成と販売	・製品の完成時、販売時の記帳法を理解する。 ・販売費および一般管理費に関する記帳法を理解する。 ・製造業の決算手続きと商品売買業の財務諸表との違いを理解し、製造原価報告書の作成法を理解する。	**前期期末考査**
	第13章 決算と本社・工場間の取引	・本社と工場間の取引の記帳法を理解する。	
11	第14章 標準原価計算（その１） 第15章 標準原価計算（その２）	・標準原価計算の特色と一連の手続きを理解する。 ・標準原価と実際原価の計算法を理解する。 ・直接材料費差異、直接労務費差異、製造間接費差異の分析について理解する。 ・パーシャルプランによる記帳法を理解する。 ・原価差異の計算法と記帳法を理解する。	行動観察 課題提出 小テスト
12	第16章 直接原価計算（その１） 第17章 直接原価計算（その２）	・直接原価計算の特色と手続きについて理解する。 ・直接原価計算による損益計算書の作成法を理解する。 ・損益分岐図表により、売上高、原価、利益の関係を理解し、損益分岐点売上高や目標利益必要売上高の計算法を理解する。	**後期中間考査**
1 2	総復習	・全商簿記実務検定１級（原価計算）受験対策として、過去問題を中心に演習する。 **全商簿記実務検定　１級　原価計算**	行動観察 課題提出 小テスト **学年末考査**